横大路だより　評価号

令和８年１０月３０日

京都市立横大路小学校

～令和８年度　前半学校評価結果を
お知らせします～

学 校 教 育 目 標
夢を抱き、生き生きと輝く横大路の子

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。Microsoft　Forms を活用して、児童・保護者・教職員の３者とも Web 上で実施させていただきました。前半の学校評価についてご報告させていただきます。「そう思う」「だいたいそう思う」をプラス評価として、「あまりそう思わない」「そう思わない」をマイナス評価として捉えています。表の数字は、プラス評価の割合です。

今回のアンケート分析をもとに、さらに工夫・改善を進めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

質問（①～⑪は、児童の質問項目を記載しています。）	１～３年	４～６年	保護者	教職員
① 学校に来るのは、楽しいですか。	86%	85%	98%	100%
② 自分の思いや考えをもって、自分から進んで学習していますか。（よく考える子）	89%	78%	94%	100%
③ 宿題や当番の仕事などを最後までしっかり取り組めていますか。（根気強く続ける子）	91%	87%	91%	100%
④ 先生や友達の話をしっかり聞き、落ち着いて学校で過ごせていますか。（落ち着いて行動する子）	91%	91%	89%	100%
⑤ 思いやりのある言葉をつかったり、行動をしたりしていますか。（思いやりのある子）	88%	82%	92%	91%
⑥ 自分のことも周りの人のことも大切にしていますか。（自分も相手も大切にする子）	86%	93%	93%	100%
⑦ 進んで読書をしていますか。	82%	49%	44%	67%
⑧ 自分から気持ちのよい挨拶ができていますか。	88%	61%	74%	67%
⑨ 学校・学級のきまりや約束を守ることができていますか。	86%	88%	89%	83%
⑩ 早寝・早起きや学習の準備など自分でできていますか。	76%	71%	87%	83%
⑪ いろいろな先生に教えてもらうのは、楽しいですか。	93%	85%	94%	100%
⑫ 学校であったことをおうちの人に話していますか。（児童） ホームページやすぐーるなどで、学校の取組や子どもたちの様子を見ていますか。（保護者） ホームページやすぐーるなどで、学校の取組や子どもたちの様子を発信していますか。（教職員）	75%	70%	90%	33%

✎自由記述欄より（抜粋）

・いつも子どもに丁寧に接していただいてありがとうございます。
・クラス替えがない分、よく席替えを行っていただき、いろいろな友達と仲良くなれるよう工夫していただいているのはありがたいです。
・複数の先生でクラスを見て、丁寧な声かけをしていただいていることが子どもにとっては学びや社会性を築く支えになっていると思います。
・タブレットを多用して授業が疲れる。タブレットのテストが少しやりにくいと言っています。
・校外学習が少ないように感じるので、もう少し色々な学びをさせてもらえるとありがたいです。
・下校時の門からの飛び出しが心配です。
・給食の様子が知りたいので、様子が知れる行事やホームページでの配信をしてほしいです。
・スマホを持つ子どもが低年齢化しているので、低学年のうちからスマホの使い方やＳＮＳの注意点・危険性の学びを進めてほしい。

アンケート結果より

Q11　いろいろな先生に教えてもらうのは、楽しいですか。

	1～3年	4～6年	保護者	教職員
そう思う	71%	60%	62%	50%
だいたいそう思う	22%	25%	33%	50%
あまりそう思わない	4%	13%	4%	0%
そう思わない	3%	2%	1%	0%

児童、保護者、教職員ともにプラス評価が高い結果でした。
本校では、担任だけでなくいろいろな教職員が授業を受け持ったり、低・中・高学年部でチームを組み担当教科を決めて授業を進めたりしています。クラス替えのない本校の実態だからこそ、いろいろな目で児童の様子を見ています。
本校の取組が児童の学習意欲につながっていることに嬉しく思います。今後、この学習意欲を学力向上へと結び付けていくために、授業の進め方やあり方を検討していきます。

Q7　進んで読書をしていますか。

	1～3年	4～6年	保護者	教職員
そう思う	58%	24%	14%	25%
だいたいそう思う	24%	25%	31%	42%
あまりそう思わない	9%	33%	31%	33%
そう思わない	9%	18%	24%	0%

≪4～7月の貸し出し状況≫

1年…680冊　　2年…833冊　　3年…794冊
4年…741冊　　5年…400冊　　6年…412冊

保護者・教職員では昨年度よりは少し進んで読書をするようになったと感じていることが分かります。しかし児童の結果を見ると、1～3年では約8割がプラス評価であるに対し、4～6年では約5割と低いことが分かります。また、昨年度より保護者も教職員も進んで読書をするようになったと感じるようになったものの、割合としてはまだまだ低いことが分かります。
青い鳥号の取組では、どの学年の子どもたちも本を読む目が輝いています。そこには、読みたいと思う本が目の前にあるからだと思います。子どもたちが、本を読みたくなるような環境づくりや働きかけをもっと進めていく必要があると感じています。

Q1　学校に来るのは、楽しいですか。

児童・保護者・教職員共に高いプラス評価という結果でした。うれしく思う反面、100%ではないことにも目を向けなければいけません。少しでも100%に近づけるよう教育活動に取り組んでいきます。

「根気強く続ける子」「落ち着いて行動する子」「思いやりのある子」「自分も相手も大切にする子」

教育目標に基づいて掲げた5つの「行動の姿」に対して4つが高いプラス評価だったことは、大変うれしいことです。どの力も社会で生きるための大きな力です。学校・家庭・地域と協力しながらこれらの力をしっかりつけていきたいと思います。

Q12 学校の様子について

9割の保護者の皆様がホームページやすぐーるで学校の取組や子どもたちの様子を見てくださっていることに嬉しく思いました。それに対し、発信側が3割程度だったのは大変心苦しいことです。学校の様子として、担任だけでなく教職員で発信していきたいと思います。

教職員で話し合った今後の改善点

☆①で楽しくないと答えた児童に「なぜ」「何が」を探り解明することで、100%に近づけたい。
☆予定表に自分で持ち物を書かせるようにすることで、学習の持ち物を自覚するようにしたい。
☆自分に対して厳しい評価をしているようにも思う。基準を示し、自己肯定感を高めることも大切である。
☆教員の授業力を上げることが児童評価を上げる改善策の1つである。

学校運営協議会理事会でのご意見

☆今の落ち着いている子どもたちの姿は、学校が楽しいからだということが分かる。
☆動きを止めてでも挨拶をしてくれる子が何人もいる。ただ、よく知っている者には、家族意識を持ち始めているのかきちんとした挨拶がなかなか見られない。家に帰っても誰もいないという難しい環境でもあるが、家族間でも挨拶をする習慣がつくといい。
☆音楽交流会での感想・意見の聞き合う姿はとてもよかった。次年度は、大人の感想も入るといい。
☆高学年がしっかりと問題意識をもって取り組めている。この姿をどのように下の学年に引き継いでいくかが大切ではないか。
☆「進んで」「自ら」の姿を目指すために、どんどん自分を出せる取組が進んでいくといいと思う。
☆発表の声の大きさが気になる。発表する経験がもっとできるといい。